

# DJ Performance at Fukuchiyama



## 目的

福知山の、主に紹介される場所以外も含めた場所や名所などを、福知山内だけではなく福知山外にも向けてアピールし、地域貢献・地域PR活動を行います。その手段として視覚・聴覚を用いた作品を用います。地域の映像とそれに合った選曲を組み合わせた映像作品で福知山の魅力を発信し、継続できる余地があるなら、継続を狙います。

## 成果

福知山市のうち、夜久野地区と大江地区を中心に3か所で撮影を行い、あわせて一本の動画を作成し、SNSに公開しました。また、映像・音楽作品を作る際の撮影方法、適切な条件、準備方法を学び、作品制作におけるノウハウを学びました。撮影する際の準備物、日の出などの条件、撮影角度による雰囲気の変化、視覚・聴覚の誘導など、プロジェクト初期では必要だと思っていた事も新しく知り、映像作品における地域PR方法を学びました。「福知山にこんなところがあるのを初めて知った」「きれいな景色が映像と音から感じられて良い」という意見や、「他にこういう場所もある」「改善していくともっとよくなりそう」などという意見もいただきました。福知山の中で地域紹介できる場所を新たに発見し、地域貢献できる幅を広げられると感じました。

# Kyoto Street Music Project



## 目的

新型コロナウイルス感染症による音楽での地域間交流の減少や音楽教室の数の地方格差によるプレイヤーの減少などといった地域課題を解決するため、多様な音楽イベントを主催し、地域コミュニティの活性化を促すことを目的に活動しています。また、音楽に興味がない方にも魅力を感じていただけるような企画も提案し、さらなる音楽需要の底上げを図り、最終的には「音楽のまち」を目指していきます。

## 成果

ストリートピアノの設置、子ども楽器体験教室、まちかどコンサート、ミュージックツーリズムの4企画、計6回の企画・イベントを開催しました。福知山市以外にも、舞鶴市や京丹後市、京都市をはじめ、神奈川県や大阪府、滋賀県、兵庫県など府外からも多くの来場があり、音楽による地域活性化に繋げることができたと感じています。また、音楽活動を通していく中で地域の方と関わる機会が増え、我々自身が音楽の「人と人を繋げる力」を体感することにもなりました。何より、今回の活動を通して、より多くの方に音楽を楽しんでいただけたことに嬉しく思っております。今後もこういったコミュニティが持続していけるような可能性を探っていきます。

# シェア福知山会議学生部

シェア福知山会議学生部 第5回イベント  
地域で活躍している人と交流し  
「福知山でできることほなにか」を  
地域の人と考えるイベント

## 題名のない交流会

～自分が創りたい世界を  
自りの手で  
筒井さん編～

日時：2023年7月23日（日）  
13：00～15：00  
場所：福知山公立大学  
4号館4階4402教室


タイムスケジュール  
13：00～13：10 開会  
13：10～14：10 講演+ワークショップ  
14：10～14：20 休憩  
14：20～14：50 グループセッション  
14：50～15：00 閉会

お申込み  
お問い合わせは  
こちらから



主催：シェア福知山会議学生部

筒井 章太（つつい しょうた）  
株式会社FoundingBase Contents Director  
大学時代、国内外を旅していた筒井さん。現  
地の人々との交流を通じ各地の文化、価値観に  
触れる中、どこに生まれても生まれた場所に誇  
りを持ち、自分らしさを大切にできる世  
界を作りたいと考える。  
現在は宮津市を舞台に人々が誇りや魅力を感じ、  
目的地や居場所になる街創りを目標に活躍  
中！



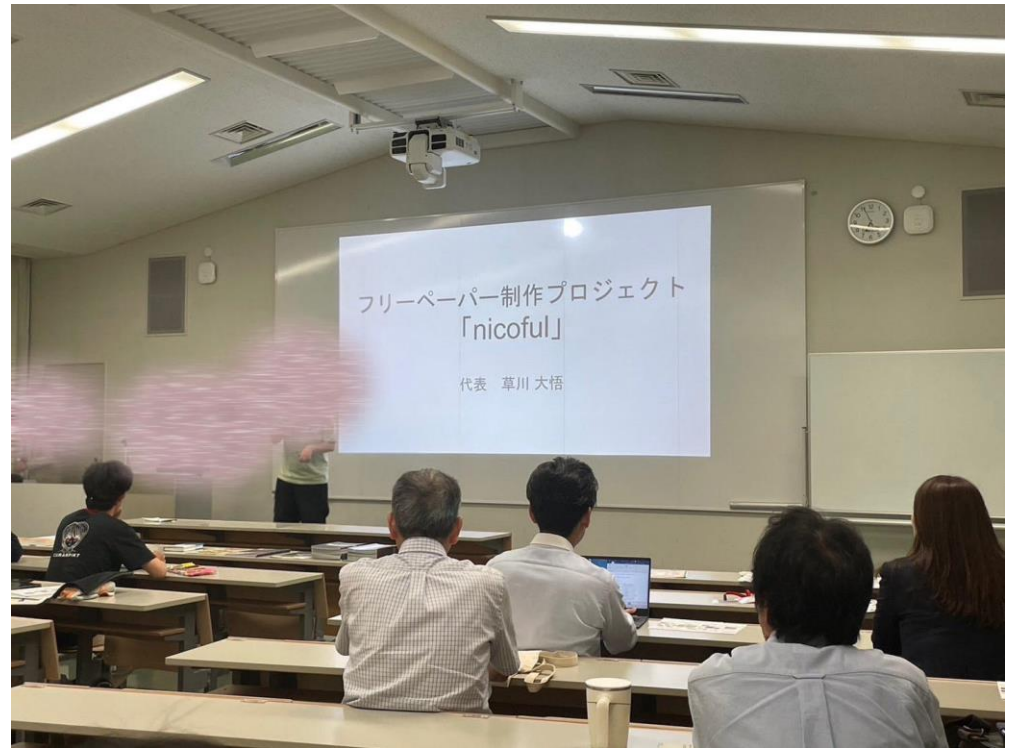
## 目的

大学生と地域の連携の現状として、イベントや学内での講義など、一時的な連携が多く、継続的な連携がとりづらい状態にあると感じる。それにより、大学生は地域参加のハードルが高く、地域住民も大学生と関わるきっかけを作れない状態にあると考える。本プロジェクトは、地域住民と連携した活動を行うことで、地域との持続的な関係を創出し、大学生の地域参加のハードルを下げ、地域住民との連携を促進することが目的である。

## 成果

昨年度から本格的に活動を開始した本プロジェクトだが、昨年同様、複数の大学生や地域住民と連携して活動することができた。昨年度から継続して連携させていた地域住民や団体に加え、今年度は「株式会社Founding Base」の筒井様や「移住者交流会」の皆様などと新しく関係性を構築することができた。本年の反省点として、昨年度からメンバーが2名増えたが、年間スケジュールの遅延や、日程が合わないなどの理由で、予定していた新メンバー主体のイベントが企画できなかったことが挙げられる。また、今後の活動の課題として、学生プロジェクトの制度廃止や、連携先の「シェア福知山会議」の組織構造見直しに伴う運営体制の変更が必要である。

# フリーペーパー制作プロジェクト「nicoful」



## 目的

本プロジェクトは、福知山の魅力を若者視点・よそ者視点で眺めて発見した魅力について、大学生が制作するフリーペーパー「nicoful」を通して地域住民の方に発信していくことを目的として活動している。大学生の強みを最大限に生かし、地域の施設等を紹介することに加え、地域の「人」の魅力も発信することで、人を含めた地域資源の魅力を多くの人に感じていただき、同時に地域と大学生のかかわりの架け橋となることを目指している。

## 成果

今回のnicoful vol.3では、「歩く」をテーマに福知山の新たな魅力発信を行った。今回の活動では、デザインなどの雑誌制作における知識や技術に関して新人研修を行った上で、フリーペーパーの制作を行った。地域の方への取材等を通して、福知山公立大学について認識していただくとともに、大学生に求められている活動についてのお話を聞くことができた。また、フリーペーパーの目的である、地域の魅力発信についても、様々な視点から福知山を見ることができ、大学生はもちろん、地域の方々にも福知山についてより詳しく関心を持っていただくきっかけづくりができる一冊を制作することができたのではないかと考える。

# 子どもの居場所づくり



## 目的

福知山市内の小・中学生を中心として子ども食堂を月に1回聞き、食事、学習支援、遊びの3つの観点から、子どもたちと大学生で作り出せる居場所づくりをめざす。子ども食堂を開催することで、「子どもの居場所」を作り、子どもにとっては安心して楽しむことのできる場所として、子育て家庭にとっては負担を軽減する時間として、活用してもらう。

## 成果

2023年度は9回の子ども食堂活動を行い、年間参加者は407人(子ども238人、学生・大人169人)となった。SNSでの広報活動や口コミ等による新規参加者も増加しており前年度より多くの方に参加していただいた。参加者が増加したことで、毎回の活動が賑やかになり、大学生と子ども間、子どもと子ども間のコミュニケーションもより活発なものになっている。子どもたちから、食事やイベントの準備を手伝ってくれることが増え、活動内で変化が見られた。また、地域の方からの野菜・お菓子等の提供やサークル内での地域活動への参加募集など地域の方々とも交流することができた。

# 福知山プロジェクトマッピング2023



## 目的

感染症の蔓延により、福知山市の観光客は、令和元年の100万人を境に減少傾向にある。現在、感染症対策の緩和によって以前より観光が盛んにおこなわれるようになった。そのため、減少した観光客の誘致を行う必要がある。しかし、全国的にみれば福知山市の知名度はまだ低く旅行先として選ばれる可能性は低いといえる。本事業の目的は、地域コミュニティの活性化、地域活動に活かす力の養成、福知山市の知名度上昇のためにプロジェクションマッピングを用いた地域活性化のためのイベント実施をすることである。

## 成果

福知山イル未来と2023に10月28日から11月12日の計7日間にわたり参加してきた。イベント参加期間中の来場者数は8,476名となった。和紙灯籠・手持ち行灯共々参加者全体で好評の声が多く、手持ち行灯に至っては、リピーターが少なからずついていたので、徐々にイベントの一部に浸透してきたと実感した。昨年度試験運用した竹灯籠の改良と新型の運用をしたところ、新型(仮名称:かぐや姫)はサイズに見合わずはっきり綺麗に光って目立っていた。しかし、昨年度試作したものに至っては、前回同様光の強さが弱く、20m程度離れていると模様があいまいで目を引くには至らずといった印象だった。一方で、至近距離になると非常にきれいで鮮やかな印象を持った。